

## 折々の記 No79：田舎の味！

丸の内界隈は、明治末期においても雑草だらけの茫々たる草原であり、所有者の三菱財閥に因んで「三菱ヶ原」と呼ばれて、日中でも気味が悪くて人通りも稀だったと言う。今の賑わいからは創造の外である。東京駅、丸の内周辺の再開発状況や林立するビル名を見るに三菱が圧倒的に多いと思っていたが、先見の明があったのであろう。

さて、有楽町や銀座周辺にはアンテナショップなるものが多数進出している。アンテナショップとは、新商品を試験的に売り出す小売店舗であり、消費者の反応を探るアンテナの働きをもつことからいわれる。市場動向把握、消費者嗜好把握等の情報収集を行うと共に新規商品の情報発信などの機能をも具備している。東京には各都道府県のアンテナショップが多数店を構えて名産品を販売してしっかりと情報収集等を行っている。中でも小生が勤務する有楽町や散歩コースの一つである銀座には、有楽町・銀座界隈には、北は北海道、南は沖縄まで全国各地のふるさとアンテナショップが勢揃いしている。特に集中している東京交通会館を覗いてみると、結構な数の人々で賑わっている。かと思えば、人影まばらなショップもない訳ではない。

どちらかというとその地域の名産品・特産品を販売しているショップは人気が高い。パンフレットやイベント情報の紹介コーナー等はそれ程でもない。



(鹿児島県の遊楽館、日比谷シャンテ向)

- ①北海道： どさんこプラザ（有楽町2丁目 東京交通会館1F）  
ふらの彩館（銀座7丁目 松尾ビル1F）
- ②岩手県： いわて銀河プラザ（銀座5丁目 南海東京ビル1F）
- ③秋田県： 花まるっ秋田ふるさと館（有楽町2丁目 東京交通会館1F）  
秋田まるごと情報プラザ（有楽町2丁目 東京交通会館2F）
- ④福島県： 喜多方ふるさと館（有楽町2丁目 やる気茶屋内）
- ⑤長野県： 長野県東京観光情報センター（有楽町2丁目 東京交通会館2F）
- ⑥静岡県： 静岡東京観光案内所（有楽町2丁目 東京交通会館B1F）
- ⑦石川県： 加賀・能登・金沢江戸本店（有楽町1丁目東宝ツインタワービル1F）
- ⑧滋賀県： 滋賀県東京観光物産情報センター（有楽町2丁目 東京交通会館B1F）
- ⑩和歌山県： 和歌山喜集館（有楽町2丁目 東京交通会館B1F）
- ⑪愛媛県： いまばりタオルブティック（銀座6丁目）
- ⑫長崎県： 長崎県観光物産情報センター（銀座5丁目）
- ⑬鹿児島県： かごしま遊楽館（有楽町1丁目 千代田ビル）
- ⑭沖縄県： 銀座わしたショップ（銀座1丁目 実業之日本社銀座ビル1F）  
（財）沖縄観光コンベンションビューロー東京事務所  
（有楽町2丁目東京交通会館3F）
- ⑮全国： 新・むらからまちから館（有楽町2丁目 東京交通会館1F）

有楽町の東京交通会館に行けば、9個道県のショップと全国の物産等を一堂に集めたシ

ショップがあるので、十分に楽しめよう。或いは昔懐かしい田舎の味に出会えるかもしれない。ショップ名を見て気付いたのであるが、面白くも新鮮味もない、如何にも役人が杓子定規の判断で名付けたような、物産或いは観光情報センター等の命名よりも、ワンフレーズでその特色を端的に現したキャッチコピーが付けられるショップだったら何かあるかもしれない、行って見ても良いかなという気にさせられるから不思議だ。

参考にしたHPによれば、沖縄の7ショップがダントツで、北海道と北海道、福島、高知（銀座・有楽町での出店はない）が夫々4店舗であり、これ等道県の熱の入れ方が伝わってきそうだ。

銀座・有楽町地区の17のアンテナショップを見て回るだけで、日帰りツワー気分になる。そのために便利なアンテナショップマップ付ガイドを各ショップやJTB有楽町支店で無料で配布している。新たな銀ブラになるのかもしれない。丸の内界隈から銀座周辺有楽町一帯が新たな名所が出来、ビルには色々な有名ブランド店や飲食店等が出店し、アンテナショップも多数あり、オフィス街というイメージから脱皮しつつあるようだ。